【樹木の部屋】

クロマツ (マツ科マツ属 Pinus thunbergii)

和名: クロマツ 別名: オマツ(雄松) 英名: Japanese Black Pine

マツ目 常緑針葉樹 原産地:日本、朝鮮半島

花言葉: 不老長寿、同情、哀れみ、慈悲 花の色:



← 写真-1 クロマツ

撮影日:2012年11月16日

撮影場所:大和郡山市 M邸にて

撮影者:M さん



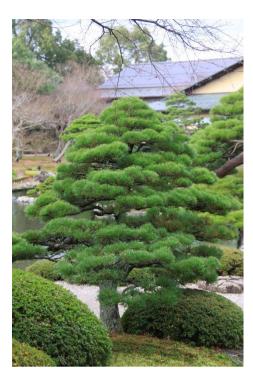
→ 写真-2 クロマツの芽

撮影日:2012年11月16日

撮影場所:大和郡山市 M邸にて

撮影者:M さん

クロマツ・・樹皮が黒いのでこの名が付いている。生命力が強いため古くから縁起の良い木として和風庭園の主役として使われています。男松は、アカマツ (雌松)に比べて葉が太くて長いことや全体に力強さがあることに由来。汚染と塩害に強いために、街路樹や防潮林に使われています。いわゆる浜にある松原はクロマツで構成され、三保の松原、天橋立など景勝地にあるマツはこのクロマツ。また、一般的な園芸用樹種で、古くから盆栽用の樹種としても使われている。



← 写真-3 クロマツの剪定樹形

撮影日:2016年12月22日

撮影場所:由志園(松江市)にて

撮影者:M さん



→ 写真-4 クロマツの小枝

撮影日:2016年12月22日

撮影場所:由志園(松江市)にて

撮影者:M さん

クロマツの剪定樹形です。写真3は、剪定前、写真4は剪定後です。松江の大根島にある由志園に訪れた際、丁度、剪定作業の最中でした。

くちょっと一言>

*マツ材線虫病

マツ科樹木に発生する感染症で、病原体は北米原産。日本を含むアジアやヨーロッパのマツ類に枯死を伴う激害をもたらしているそうです。日本での汚染地域は徐々に拡大しており、2010年以降北海道を除く本州以南の 46 都府県全てで確認されているそうです。関係者の間ではマツ枯れと呼ばれることが多く、行政用語としては松くい虫が用いられています。

世界三大樹木病害(ニレ立枯病、クリ胴枯病、五葉マツ類発疹さび病)に本病を加えて世界四大樹木病害と呼ぶことがあります。 また、外見上類似した病害としてナラ枯れ(ブナ科樹木萎凋病)があります。